

都市環境工学専攻

I. 志望区分

以下に示す研究内容を参照し、予め志望区分の教員と十分に連絡をとり、研究計画等について相談した上で、インターネット出願システムの志望情報入力画面で、第1志望のみを選択すること。

志望区分	研究内容 (担当教員) (平成 30 年 10 月現在)
1	環境デザイン工学、都市代謝工学、環境装置工学、資源循環科学、有害化学物質制御 (高岡昌輝教授・大下和徹准教授)
2	環境衛生学、環境予防医学、 環境予防工学(環境化学物質・大気汚染物質等のリスク評価と評価手法、予防・軽減手法の開発) (高野裕久教授・上田佳代准教授)
3	水環境工学、環境微生物工学、水処理工学、水・資源循環システム、水環境管理 (西村文武准教授・日高平講師・水野忠雄講師)
4	環境リスク工学、健康リスク評価、環境汚染物質の毒性評価、土壌・地下水汚染管理、地圏生態リスク評価、 放射能環境汚染対策 (米田稔教授・島田洋子准教授)
5	大気・熱環境工学、地球温暖化、地球環境の統合評価、環境政策評価、環境経済分析 (藤森真一郎准教授)
6	都市衛生工学、環境ヘルスリスク制御工学、高度浄水処理工学、飲料水質のリスクマネジメント、 上水道システムのトータルデザイン (伊藤禎彦教授・小坂浩司准教授)
7	環境質管理、統合的流域管理、環境微量汚染物質の検出・挙動把握・毒性評価・排出制御、 水環境天然有機物の特性解析、土壌・地下水汚染・浄化 (清水芳久教授・松田知成准教授)
8	環境質予見、環境汚染物質及び病原微生物のモニタリング・制御・影響評価、水の再利用、 雨天時排水管理、藻類毒素の動態解明、水域生態系保全、汚染源の推定と管理 (田中宏明教授)
9	環境保全工学、リサイクルシステムと廃棄物管理、循環型社会システム、教育研究機関の環境安全管理 (酒井伸一教授・平井康宏准教授)
10	安全衛生工学、労働衛生学、粒子状物質や化学物質の曝露評価、安全工学、安全衛生マネジメント (橋本訓教授・松井康人准教授)
11	放射能環境動態、環境中での放射性・安定同位体の分布挙動の研究 (藤川陽子准教授)
12	放射性廃棄物管理、原子力技術の安全性研究及び有害物質の環境中での移行挙動の研究 (福谷哲准教授)
13	環境調和型産業論、流域水環境管理論、沿岸生態系保全、有害微量化学物質管理、途上国水環境衛生、 資源回収・循環 (藤井滋穂教授・田中周平准教授)

【注1】 志望区分1～12は、入学後の教育プログラムとして、博士課程前後期連携教育プログラム(融合工学コース：人間安全保障工学分野)、博士課程前後期連携教育プログラム(高度工学コース)、修士課程教育プログラムのうちから一つを選択できる。志望区分13については、連携教育プログラムの設定はない。

II. 募集人員

若干名

III. 出願資格

京都大学大学院工学研究科平成31年度修士課程外国人留学生学生募集要項(以下「募集要項」と略す)4ページを参照。

IV. 学力検査日程

平成31年2月12日(火)		
時間	試験科目	試験室
9:00 ~ 12:00	筆記試験	桂キャンパスCクラスターC1棟 173号室(1階)、他
平成31年2月13日(水)		
9:00 ~ 17:00	口頭試問	桂キャンパスCクラスターC1棟 152号室(1階)、他

※ 博士課程前後期連携教育プログラム(融合工学コース)人間安全保障工学分野志望者の試験日時および試験室については別途通知する。

【学力検査に関する注意事項】

- (1) 試験開始時刻10分前までに試験室前に集合すること。なお、口頭試問の場合は、受験者控え室(桂キャンパスCクラスターC1棟107号室(1階))に集合すること。
- (2) 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
- (3) 試験に使用する筆記用具は、鉛筆、万年筆、ボールペン、シャープペンシル、鉛筆削り及び消しゴムに限る。
- (4) 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
- (5) 筆記試験受験に際して、電池式の小型卓上計算機を必要とする場合があるので、プログラム機能を有しないものを持参すること(取扱書の持ち込みは不可)。
- (6) 口頭試問では、コンピュータと接続可能なプロジェクターは用意するが、コンピュータは用意しないので各自が持参すること。
- (7) 各試験科目の試験室、口頭試問の時刻など、詳細は事前に、桂キャンパスCクラスターC1棟191号室(1階、大講義室)西側廊下の専攻掲示板に掲示するので注意すること。

V. 入学試験詳細

(1) 英語(200点/1000点)

TOEFL、TOEICまたはIELTSの成績により評価する。手続き等、詳細については、下記の【英語の学力評価について】を参照。

【英語の学力評価について】

- TOEFLの都市環境工学専攻が指定するInstitution Code:C121により、平成31年2月6日(水)までに工学研究科都市環境工学専攻に提出された受験者成績書(「Test Taker Score Report」または「Examinee Score Report」)、TOEICの公式認定証(Official Score Certificate)またはIELTSの成績証明書(Test Report Form)の成績により英語の学力を評価する(ただし、平成29年2月1日以降に実施された試験に限る)。
- TOEFLについては、上記の受験者成績書のコピー(ウェブサイトからダウンロードしたPDF形式のTest Taker Score Reportを印刷したものも可)、TOEICについては公式認定証、IELTSについては、成績証明書(以下、これらを成績証明書と略す)を、平成31年2月6日(水)の午後5時までに、「京都大学大学院工学研究科Cクラスター事務区教務掛(都市環境工学専攻 入試担当)」に提出または郵送しなければならない。
 - TOEFLの場合はTOEFL-iBT(internet-Based Test)及びTOEFL-PBT(Paper-Based Test)、TOEICの場合は日本または韓国で実施されるTOEIC公開テストの成績証明書のみ受け付ける。TOEFL-ITPやTOEIC-IPなどの団体試験の成績証明書は無効なので注意されたい。
 - TOEICとIELTSの成績証明書は原本に限り、コピーは受け付けない。また、後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消す。
 - 英語を母語とする受験生は「英語を母語とする旨の宣誓書」(様式-M3)を本専攻に予め提出することにより上記成績証明書の提出を免除し、口頭試問で英語力を評価する。なお、後日虚偽の申請を行ったことが明らかとなった場合には合格を取り消す。
- TOEFL、TOEICまたはIELTS試験の詳細についての問い合わせ先は、それぞれ下記の通り。
 - TOEFL: 国際教育支援協議会(CIEE)・TOEFL事業部
TEL: 0120-981-925、<http://www.cieej.or.jp/toefl/>
 - TOEIC: (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会・TOEIC運営委員会

TEL: 06-6258-0224、<http://www.toeic.or.jp/>
IELTS: (公財) 日本英語検定協会 IELTS 東京テストセンター TEL: 03-3266-6852
(公財) 日本英語検定協会 IELTS 大阪テストセンター TEL: 06-6455-6286
<http://www.eiken.or.jp/ielts/contact/>

(2) 筆記試験(400点/1000点)

都市環境工学に関する基礎及び専門分野から出題する。ただし、あらかじめ、志望する分野の指導教員と相談の上、筆記試験および口頭試問時の希望言語選択票(様式-M1)により、筆記試験および口頭試問時の希望言語を日本語または英語から選択し、提出すること。

(3) 口頭試問(400点/1000点)

卒業研究の内容あるいは現在の主要な研究の内容と修士課程での研究計画について、コンピュータとプロジェクターを用いて口頭発表(10分以内)し、試問(口頭発表とあわせて30分程度)を実施する。また、「英語を母語とする旨の宣誓書」(様式-M3)を提出した受験生は英語力も評価の対象とする。

(4) 有資格者及び合格者決定法

総得点(1000点満点)が500点以上の者を有資格者とする。有資格者の中から合格者を決定する。

VI. 試験時の希望言語調査及び別途提出書類(様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること)

(1) 外国人留学生に対する試験時の希望言語調査について

当専攻修士課程を志願する外国人留学生は、志望する分野の指導教員と十分相談の上、筆記試験および口頭試問時の希望言語選択票(様式-M1)により、筆記試験および口頭試問時の希望言語を日本語または英語から選択し、平成30年12月11日(火)午後5時(必着)までに、京都大学大学院工学研究科Cクラスター事務区教務掛(都市環境工学専攻 入試担当)へ提出すること。期日までに提出がなかったものは日本語で筆記試験、口頭試問を行うこととする。

【備考】

- ・ 書類提出期限: 平成30年12月11日(火)午後5時(必着)
- ・ 提出先: 〒615-8540 京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科 Cクラスター事務区教務掛
都市環境工学専攻 入試担当
TEL: 075-383-2967

(2) 別途提出書類について

出願手続にあたっては、募集要項Ⅲの工学研究科に提出する出願書類等の他に、下記の書類を、京都大学大学院工学研究科Cクラスター事務区教務掛(都市環境工学専攻 入試担当)へ提出または郵送すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

- ・ 書類提出期限: 平成31年1月9日(水)午後5時(必着)
 - ・ 提出先: 〒615-8540 京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科 Cクラスター事務区教務掛
都市環境工学専攻 入試担当
TEL: 075-383-2967
- ・ 提出書類 ① 別途提出書類届(様式-M2)
 - ② TOEFL、TOEICまたはIELTSの成績証明書。あるいは、英語を母語とする受験者は、成績証明書の代わりに「英語を母語とする旨の宣誓書」(様式-M3)を提出してもよい。
 - ③ 入学後の教育プログラム履修志望調書(予備志望調査)(様式-M4)
 - ④ 学習・研究計画書:
これまでの研究成果及び進学後の研究計画をA4判の用紙5ページ程度に日本語あるいは英語で記載したもの 5部

(3) 問い合わせ先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛
都市環境工学専攻 入試担当
TEL : 075-383-2967

当専攻のより詳しい情報は、<http://www.env.t.kyoto-u.ac.jp/>を参照のこと。

VII. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には 3 種類の教育プログラムが準備されている。いずれのプログラムを履修するかについては、志望と入試成績に応じて決定される。入試区分「都市環境工学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。また、教育プログラムの内容については、募集要項の「IX 修士課程入学後の教育プログラムについて」「X 教育プログラムの内容（融合工学コース）」を参照すること。

- 博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）
 - ・人間安全保障工学分野
- 博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース）
 - ・都市環境工学専攻
- 修士課程教育プログラム
 - ・都市環境工学専攻

履修を志望する教育プログラムを（様式-M4）に記入し、平成31年1月9日（水）午後5時【別途提出書類の締切日】までにCクラスター事務区教務掛（都市環境工学専攻 入試担当）に必ず提出すること。なお、志望内容は入試の可否には無関係である。「博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース・高度工学コース）」を希望する者については、平成31年2月13日（水）の口頭試問時にコース志望に関する試問を実施する。なお、博士課程前後期連携教育プログラム希望者に対する口頭試問において博士課程前後期連携教育プログラムの履修が不可となった場合は、修士課程教育プログラムを履修することになる。